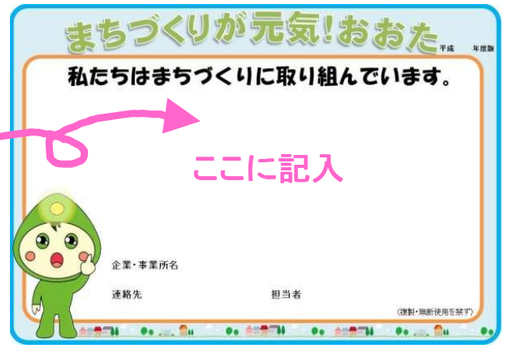
『まちづくりが元気！おおた』 登録事業とは・・・地域と専門職をつなぐツールです。

① ステッカーにメッセージを記入しましょう。

各機関毎に、「まちづくりに向け、自分たちに出来ることは何か？」を話し合い、メッセージとしてステッカーに記入しましょう。
※メッセージは実現可能なものにしましょう。

例えば・・・
・血圧・体重・体脂肪測定が無料で出来ます！（薬局）
・お食事と一緒に地域の情報をお持ち致します。（配食サービス）
・ご自身の趣味で作った作品を展示してみませんか？（デイサービス）
・よろしければ茶話会や休憩所としてお使い下さい。（老人ホーム）



ステッカー

② ステッカーを、掲示しましょう。

ステッカーは、出来る限り地域の皆さんの目の届く所に掲示しましょう。
例えば・・・事務所の入口、車、バイク、自転車など。

③ フリーペーパーを発行します。

登録企業・事業所のマップ、健康・お役立ち情報など、地域の皆さんに役立つ情報をまとめたフリーペーパーを発行します。
地域の方とつながるきっかけづくりに活用して下さい。

情報交換会を通し、専門機関同士の交流・連携を深めます。

年２回程度、登録機関の情報交換会 兼 フリーペーパー編集会を開催します。
情報交換会では、事業や各々の活動に関する意見交換、次号のフリーペーパーの内容検討を通し、このまちで働く専門職として、まちづくりに出来ることは何かを考え合いましょう。

大田区の後援を受け、H24~26年度東京都保健福祉計画活動事例にもなっている「おおた高齢者見守りネットワーク（愛称：みま～も）」は、平成20年から、医療･保健･福祉分野の専門職、民間企業、行政機関が手をつなぎ、地域の高齢者の安心・健康をテーマに活動しています。
地域のすべての人たちによる「見守り支え合いのネットワーク」と、医療・福祉・介護専門職による「支援のネットワーク」の有効的な連携により、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりをめざします。

〈主な活動実績〉
・地域づくりセミナー：地域住民へ向けたセミナーを大森（年8回）、蒲田（年3回）開催。
・特別地域づくりセミナー：「認知症の人と歩む町に」をテーマに、セミナーとコンサートを開催（年1回）。
・高齢者見守りキーホルダー登録事業：平成21年に区内一部地域で開始した「ＳＯＳみま～もキーホルダー登録システム」は、平成24年４月より、大田区の高齢者施策となりました。
・みま～もステーション：大森柳本通り商店街内にある、「アキナイ山王亭」と「大田区立新井宿第一児童公園」を拠点に、高齢者の活動の場と機会の提供をしています。平成25年からは一部デイサービスでも、茶話会や体操教室を開催しています。